



たもんじ 2024年3月号 交流農園便り Vol.72



この春!! 新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 01-2②

宮田直子さん、稲葉奈緒美さん



① 高知市出身、墨田区に暮らして春から10年目になります。好きなものは『銭湯』です。週1くらいで大黒湯(こちらで銭湯ヨガもやってます)に出没。サウナは苦手です。主に炭酸風呂と水風呂に入っています。高知と言えば酒飲みの県、私も『ビール』が大好きです。他にも『ツボ押し』『散歩』『コーヒー』など。野菜づくりは全くのビギナーです。夫は金沢に単身赴任中(と言いつつ5月から久米島勤務なのですが)。娘(春から大学4年)は就活と卒制に忙しく、家族で取り組むのは私だけ。唯一、前の職場での仲良しで散歩仲間でもある稲葉奈緒美さん(文京区在住)が水やりの助っ人に来てくれます。時々高知に帰ったり夫のところに行ったりするので、その間面倒をみてもらうことになりそうです。



- ② 江戸東京野菜にトライしたいです。
- ③ 菌ちゃん農法。夏の終わりか秋に始めたいです。“直ちゃん”と呼んで
- ④ 期限の前日に申込みをしたにもかかわらずクジに当たるなんて!!こんなご縁があるんだと運命のようなものを感じています(実のところ今までの人生、余計なものしか当たったことがなく、ほんとクジ運がないんです)。貯めていた運を全部使ってしまったかも。美味しい無農薬野菜の栽培と健康づくりを皆さまと楽しくやっていければ嬉しいです。宜しく願いいたします。

区画 12-2②

岩脇夕貴さん、ご家族

① 「ちーむ小川」の現場担当の岩脇夕貴です。この度小川さんのお隣で耕すことになりました。ヤッチャバ、声楽家などいろいろなことをやっていますが、とにかく動いていないと落ち着かない性分で、今年も新しいことへのチャレンジを始めました。『英会話』と『懸垂』です。

私の職場はインバウンドの恩恵で、外国人旅行客が多くきます。簡単ながらも『英会話』で接客をするので、これを機会にと勉強をしています。

『懸垂』は完全なる自己満足のためです。歌を歌うので背中の柔軟性がないといけないため、ストレッチも兼ねて子どもたちを公園で遊ばせているときに、鉄棒



などを使って斜め『懸垂』などを常日頃からやっているのですが、なかなか(垂直の)『懸垂』まではたどり着かず、、、家での壁腕立て伏せを追加して、やりすぎて手垢が壁に付いたら旦那に怒られるだろうかなどと考えながらも、どこにでもいそうなアラフォーがさり気なく『懸垂』をしたらかっこいいであろうという自己満足のために頑張っております(笑)

- ② 小川さんのところで育ててないもの(笑)
- ③ 種の自家採種や、手作りの農薬の作り方、窒素とかの簡単な理解の仕方(化学苦手)
- ④ 人と人との繋がりが本当に強く、素晴らしい場所だと思っております。共同作業になかなか参加できませんが、このコミュニティがずっと続くことを願っています。かなりの変わり者ですが、これからもよろしく願い致します!

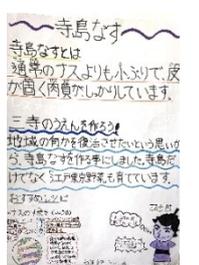


普段とのギャップをお愉しみ頂ければ幸いです

3/2 第三寺島小学校の“江戸東京野菜”の試食会に招待されました。



昨年の寺島なすの栽培から始まって、江戸東京野菜を栽培し、「試食会を開くまでの一年間の取組」について、子供達が素晴らしい発表を行いました。“江戸東京野菜を広めたい”との熱意がピンピン伝わり、本当に感動しました😊小学校5年生の子供達に、“寺島なす”を始め、「江戸東京野菜」にこんなに興味を持ってもらえるなんて、ほんと、嬉しかったです。伝統小松菜のお味噌汁、美味しかったなあ😊(小川剛記)



雨水・井戸水・みずみずしい水のハナシ



お話し 松本正毅さん(てらたま協議会/理事、NPO 法人雨水市民の会/副理事長、松本デザイン機構有限公司/代表取締役)

【雨水のハナシ】 たもんじ交流農園には9つの雨水タンクがあり、内4つは繋がっていませんが、総容量は全部で1トン弱。多聞寺さんのタンクも含め

全10種類、雨水タンクのショールームとなっています。雨水を使うことによって、下水への負担を減らすと共に、水道水の量を削減することができます。また、今、菌ちゃん農法をやっていますけど、塩素の入った水道水ではなく、空気中の窒素を多く含んだ雨水が、土壌菌には優しいのではないかと、私は思っています。経済的・環境的な観点から、雨水をどんどん使ってください。

【井戸水のハナシ】 去年一度井戸を掘り終えましたが、途中約2mのところまでパイプが割れ、周辺の汚れた水が入ったらしく、夏場、鉄バクテリアの発生によってポンプが詰まるという事態となりました。この辺りは深さ1mくらい掘れば、水が湧いてきますが、その埋立層の下は30mまでシルト層(砂と粘土の中間的な粒子)で、本来井戸はシルト層の下の礫(れき)層、小さい石があるところまで掘って掘った井戸がキレイとされています。今、3本目(2本目は、障害物で掘り進められませんでした)を掘っていますが、細心の注意と腕力で、6m~8mまで掘る予定です。掘り方は、上総(かずさ)掘りといい、ほとんど力業で掘っていくのですが、意外と深く掘れます。井戸水の品質については、以前掘った時の水であれば、メダカはずっと生きていたので、そう悪いものはないと思いますが、もう一回試す必要があります。この池で、今、虫を飼おうとしており、夏場、虫を鑑賞して、この井戸の水で卵を産んでもらいたいなあと期待しています。



“てらたま農園部から”

第28回~菌ちゃん畝を増やしました~



てらたま共用区画では昨年1月に倉庫側の区画に3本の菌ちゃん畝を作りました。その結果、肥料を施す必要はなくなり、水やりも真夏のカラカラ天気が続いたときに水やりした程度で済み、とても楽な思いをしたので今年は更に2本増やしました。真ん中の共用区画も全部菌ちゃん畝にしようという話もあったのですが、そうするとマメ類、イモ類を作れなくなってしまっ、それも寂しい。そこで、2本取った残りの土地に通常の畝を2本作り、ジャガイモを植えました。今回も手間いらずのゴロゴロ植えです。更に、昨年作った菌ちゃん畝が低くなってしまったのでエサと土を補充することにしました。結構ボロボロになったマルチをはぐったところ、エサとして入っていた板に写真のように見事な糸状菌がついていました。



【これから春の予定】 3/30(土) 15:30~隅田公園そよかぜひろば すみだNPO フェスティバル内にて「隅田村と墨堤の桜」~隅田宿から隅田川御殿、御前裁畑まで、そして植桜の歴史~講師: 高野祐次前副区長、同 3/31(日) 15:30~「東京の都市型農園の紹介(仮題)」プレゼンター小川さん、4月上旬/「はぐくみの桜」のお花見、5月GW頃/寺島なすの苗販売会~苗植え体験会、6/30(日) たもんじ交流農園にて寺島なす収穫祭

この夏の 第3回寺島なす★祭り&青果リレーは、7/21(日)に決定!

水口アドバイザーご指導日: 4/28(日) 5/12(日) 10:00~15:00

農園部作業日: 毎週日曜 9:00~



たんたん交流農園便り
No.72 般 2024.3.27 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)
▲セブン-イレブン 記念財団 (2018年 2020年に助成金を頂きました)



FaceBook